

# 個人情報情報の保護と利用 に関する取組状況について

平成18年5月25日

全国銀行個人情報センター

# I. 全国銀行個人信用情報センターの概要 ①

組 織	全国銀行協会が設置・運営
設 立	<p>昭和48年1月 東京銀行協会に設置(以後、各地銀行協会に設置)</p> <p>昭和63年10月 各地銀行協会の情報センターを全国統合</p>
会 員	<p>◆金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農業協同組合、政府金融機関など)</p> <p>◆クレジットカード会社、保証会社などの個人に関する与信業務を営む法人で金融機関の推薦を受けたもの</p> <p>※ 会員数:1,502会員(平成18年3月末現在)</p>



## I. 全国銀行個人信用情報センターの概要 ③

情報交流	提携情報機関	全国信用情報センター連合会加盟の33センター、 (株)シー・アイ・シー
	交流開始時期	昭和62年3月
	交流情報・項目	事故情報及び一部の本人申告情報を交流(項目:氏名、生年月日、性別、郵便番号、電話番号、住所、勤務先名、取引種類、実行金額、実行日、事故内容、事故日、調査中の表示、本人申告情報)
平成17年度運用状況	保有情報量	7,940万件(うち事故情報の比率2.7%)(平成18年3月末現在)
	照会件数	1,620万件
	事故情報の登録通知件数	615,447件(※顧客本人に確認のために通知するもの)
	本人開示件数	54,641件(※全国10ヶ所の銀行協会または郵送で受付)

## Ⅱ．個人信用情報の活用と情報交流

### 1. 個人信用情報の活用

- ◆ 多重債務防止・適正与信の確保の観点からは、信用情報機関に登録される情報を一層整備・活用し、消費者等の正確な債務状況を把握することが不可欠。
- ◆ 会員における的確な与信判断を可能とするため、個人信用情報の最新性・正確性の向上、登録情報の質・量の拡充等が重要。

### 2. 情報交流について

- ◆ 多重債務防止・適正与信の確保の観点からは、社会的なコンセンサスを得たうえで、残高情報等を含めた一層の情報交流の拡大を図っていくことが必要。
- ◆ ただし、情報交流の拡大にあたっては、各信用情報機関間での情報内容や更新サイクルの相違、個人情報保護に関する意識の高まりといった状況等も踏まえて検討することが必要。

## Ⅲ. 個人情報保護 ①

- ◆ センターは、昭和48年の設立当初から、本人同意の取得、目的外利用の禁止、本人開示、登録通知状の送付、苦情処理手順の整備等、従来から高いレベルでの個人情報保護に取り組んできている。
- ◆ 平成17年4月には、個人情報保護法及び関係法令の整備が図られ、これら関係法令に即した規則、運用等の全面的な見直しを行い、会員管理の強化、組織的・人的・技術的安全管理措置を実施。

### （組織的措置）

- ・個人情報に係る組織体制の見直し、各種安全管理規程の策定・整備等

### （人的措置）

- ・従業者、委託先等の管理強化

### （技術的措置）

- ・個人情報へのアクセス制御、アクセス記録の取得・分析、暗号化等

## Ⅲ. 個人情報保護 ②

- ◆ 前頁の措置については、監査法人による外部監査を受け、金融庁ガイドライン等をほぼ充足しているとの評価。
- ◆ 平成17年4月には金融庁の認定を受けた銀行界の認定個人情報保護団体である「全国銀行個人情報保護協議会」へ加盟。
- ◆ 今後とも個人情報保護に向けて万全を期していく。

以 上

## 情報の登録件数等について

平成 18 年 6 月 1 日  
全国銀行個人信用情報センター

	件数	人数(注)	残高	1 件当たり残高	1 人当たり件数と 残高(注)
全体	7,940 万件	3,726 万人	—	—	2. 1 件
うち事故情報	213 万件 (事故率2. 7%)	134 万人	—	—	1. 6 件
残高ありの情報全体	2,943 万件	1,858 万人	184 兆 7,023 億円	628 万円	1. 6 件 994 万円
うち無担保	1,562 万件	1,047 万人	9 兆 205 億円	58 万円	1. 5 件 86 万円
うち住宅ローン	1,102 万件	915 万人	165 兆 9,488 億円	1,506 万円	1. 2 件 1,813 万円
残高ありの事故情報	148 万件	101 万人	4 兆 8,714 億円	329 万円	1. 5 件 482 万円
うち無担保	102 万件	74 万人	5,904 億円	58 万円	1. 4 件 80 万円
うち住宅ローン	23 万件	20 万人	3 兆 7,460 億円	1,629 万円	1. 1 件 1,873 万円

\*「人数」はカナ氏名と生年月日が一致する情報を同一人とみなして算出しています。1人当たり件数・残高は件数と残高をこの「人数」で割ったものです。